

久米島におけるサトウキビ産業の恩人に感謝

2月10日・字大原 坂井さんまつり

2月10日、字大原で「坂井さんまつり」が行われました。その日は、久米島の糖業の恩人でもある坂井了爾さんの命日です。

明治18年、大原の開墾から始まったキビ作指導は苦勞の連続でした。1年かけてようやく軌道に乗ってきた矢先に坂井さんは突然、病死されたそうです。100年以上経った今でも、毎年、坂井さんの命日には字大原の方々をはじめ多くの人々が墓前に集まり、坂井さんの功績を称えお参りしています。

集まった方々は、「後世にしっかりと語り継いでいきたい。若い人にもっと知ってもらいたい」と話していました。



復活をした伝統芸能を後世に継ぐために

第2回 シマdeシンポジウム

一時は途絶えた謝名堂のウスデーク文化が、どのように復活したのか、その経緯や苦勞、今後、後世にどのように受け継いでいくべきかを考える「第2回シマdeシンポジウム」が、2月12日、具志川改善センターで開催されました。ウスデークの演舞後、パネルディスカッションが行われました。パネリストの謝名堂ウスデーク保存会メンバー（大山須美さん、上江洲淳子さん、島袋シズさん）からは、那覇の郷友会での保存活動や同青年会との協力体制や活動状況等のウスデークに関する様々な話がありました。思いやりや助け合いの精神が強く、小さなものでもみんなで分け合う。苦勞もみんなで分け合ったものがウスデーク復活と存続につながっているものと感じさせるシンポジウムとなりました。



Pick Up!

タイムス公演での経験を活かし更にパワーアップした演技を披露!!

久米島現代版組踊「月光の按司(あじ) 笠末若茶良(がさしわかちやら)」

昨年、一昨年と好評を博し、今年で3年目となる現代版組踊「月光の按司 笠末若茶良」久米島公演(主催:久米島町教育委員会)が2月6日、具志川改善センターにて開催され、昨年同様、昼・夜2回公演で延べ750名の観客が会場に訪れ、中高生による気迫溢れる踊りと演技を楽しみました。舞台の立ち上げに関わったメンバーが昨年卒業し、キャストが大幅に変わった今回は、タイムスフェアでの公演も経験し昨年とはまた違った、今年なりのカラーで、多くの観客を感動の渦に巻き込みました。



今回、舞台経験が少ないながら堂々とした演技を披露した球美中3年の糸数優未子さん、月川亜香音さんの2人にお話を伺いました。



月川 亜香音さん
(尚真王役)



糸数 優未子さん
(密使役)

- 組踊りをしてよかったことは?
「人前でしゃべることが恥ずかしくなくなりました」
- 練習で努力したことは?
「声の出し方や言葉の言い方等、練習しました」
- 今回の舞台はどうでしたか?
「今回は、新しいオリジナル曲が入り、女子アンサンブルの子たちは、1日で振りを覚えていたので大変だったと思います」
- 3月の那覇公演に向けた決意を
「高校3年生は最後の舞台です。観客の方々にもっと感動を与えられるような舞台にしたいです」

3月21日(月・祝)那覇市民会館大ホール18:00開演
久米島高校創立70周年記念事業「芸能那覇公演」開催決定!
第2部では若茶良卒業生を加えて、総勢60名での圧巻の舞台!ぜひお見逃しなく!



雨風吹き荒れる中、完歩目指して

第9回久米島のんびりウォーク

1月23日、24日の2日間に渡り、第9回久米島のんびりウォークが久米島ホテルドームをスタート・ゴールで開催されました。

この日は、記録的大寒波の影響で、雨風も強かったため、予定されていた長距離のコースは距離を短く変更されました。414人の参加者らは、悪天候にも負けじとしっかりと防寒対策をして、ウォーキングに挑みました。

で〜じ!さむい!大寒波がやってきた

久米島で約39年ぶりにみぞれが観測

1月24日、日本列島に流れ込んだ強い寒気の影響で、久米島でも約39年ぶりに「みぞれ」が降りました。

久米島では、1977年にみぞれが観測されて以来、2度目になります。その日は、パラパラと建物や地面に打ち付ける音が鳴りながら、断続的にみぞれが降りました。

気温が1℃となっていた宇江城城跡には、久米島では滅多に目にすることのない光景を一目見ようと訪れた人もいました。



進学や就職に対する意識を高める

島内企業合同説明会

2月3日、久米島高校にて「島内企業合同説明会・面接会」が行われました。

今回初の試みで、就職が未定の3年生と1・2年生を対象とし、島内9社の企業がブースで説明を行いました。進路指導部就職担当の上原教諭は、「3年生に対しては、取組みとしては遅いので、次年度は、6月に説明会を行う予定。島内企業には魅力が十分にあるので、早めの取り組みで就職率の向上につなげたい」と話し、島内企業に関する情報の集約化を希望する声も聞かれました。

説明会を訪れた1・2年生は、「雰囲気を見に来た。説明を聞いてみて、楽しそうだった」と感想を話していました。

多彩な帯結びを晴れやかに着飾る

2月6日は久米島紬の日

2月6日の「久米島紬の日」にちなんで、ユイモール館では、久米島紬フェアが開催されました。

久米島紬が作られる全工程が披露されたり、和装スタイリストの山本聡さんによる着付け教室では、華麗な帯結びのコーディネートを難しとされる子どもへの着付けを見ることが出来ました。祝賀交流会では、着付け体験をした方々が舞台上がり、着飾った久米島紬を披露し、来場者の目を楽しませました。

他、コースター織の無料体験や久米島紬の商品の割引販売があり、2日間に渡り、久米島紬を存分に楽しむことが出来ました。

